



古今和歌集  
上

特別  
^4  
8209  
1



14

8209

1



山跡の...  
 此の山跡の...  
 此の山跡の...  
 此の山跡の...

古設二神立天浮橋而...  
 古設二神立天浮橋而...  
 古設二神立天浮橋而...  
 古設二神立天浮橋而...

新選万葉集...  
 新選万葉集...  
 新選万葉集...  
 新選万葉集...

夫和哥者託其根於心...  
 夫和哥者託其根於心...  
 夫和哥者託其根於心...  
 夫和哥者託其根於心...

和歌の...  
 和歌の...  
 和歌の...  
 和歌の...

和歌の...  
 和歌の...  
 和歌の...  
 和歌の...

三十一言...  
 三十一言...  
 三十一言...  
 三十一言...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

召曰吉者天... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

召曰吉者天... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

古漢佐之男命... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

召曰吉者天... 和名抄... 又日... 男... 古... 和...

芳のまゝ入るるを平政宗の  
がよ入してついでに花の  
まゝて人の好いもそれ  
知らぬわらわらまゝ  
ついでに花の  
まゝて人の好いもそれ  
知らぬわらわらまゝ  
ついでに花の  
まゝて人の好いもそれ  
知らぬわらわらまゝ

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

母の...  
おちのち...  
おちのち...

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

とら春とら花のら

平兼盛の...  
王亮...  
不破...

平兼盛の...  
王亮...  
不破...

ひびきかたうらひ

このよの母よとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

つまた人の心花ありにたをりあひなる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

とるんち死かきとるんち死かきとるんち死かきとる

の上の... (Marginal notes on the right page)

花... (Marginal notes on the right page)

花... (Marginal notes on the right page)

花... (Marginal notes on the left page)

花... (Marginal notes on the left page)

花... (Marginal notes on the left page)

花... (Marginal notes on the left page)

花... (Marginal notes on the left page)

花... (Marginal notes on the left page)









くらや... 大徳ハ...

あれはあま... 昌希之... 昌希之... 昌希之...

古邊道之穂之快別島 伊豫二名島トナキアハ 隠岐之三子島...

和蘭林房在式部内東今方 為津吉所見也

昌希之... 昌希之... 昌希之... 昌希之... 昌希之...

甲斐上國大目女目...



掃部文王既没文不在茲乎

伊波あんらんいひぬるまらるるあめ

と秋のこもくさくさくさくさくさくさくさく

陳島と相寄信云母移事去身盡悲不

事いふまじき事いふまじき事いふまじき

乃うされも一あるはやあゆむあゆむあゆむ

比松のふれ教らせしとせしむるのう

あくはくさくさくさくさくさくさくさく

らち秋のさゆもまらあゆむあゆむあゆむ

せくにおおさくさくさくさくさくさくさく

波あまきさくさくさくさくさくさくさく

伊人の若井川舟の事いふまじき事いふまじき事いふまじき

さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく

古今和歌集卷第一

春の歌

春の歌の一首

在原元方

棟深(田方) 業平(孫)

春の歌の一首

紀貫之

譜不詳 天慶元(在)世(也)元

神ひらしてむしひの糸もねの成るる

春の歌の一首

春の歌の一首

二條のまはるる

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

古今和歌集卷第一

春の歌

神ひらしてむしひ

二條のまはるる

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

春の歌の一首

古今和歌集



うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

怨み

一

万

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

うらみもてしつらぬくはあんなに...

日本他仁徳天皇は古以若葉...

る下ま...

まぬ...

出...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



わがまもあまのついでに...  
ほらまもあまのついでに...  
ほらまもあまのついでに...

神徳天皇天平神護元年...  
桓彦祖孫彦孫...  
大内良岑...  
止日天皇...  
宇治山僧正

柳の...  
柳の...  
柳の...

春の...  
春の...  
春の...

凡何...  
凡何...  
凡何...

春の...  
春の...  
春の...  
春の...

東...  
東...  
東...

これに催す  
まを柳と行をふ  
まを柳と行をふ  
まを柳と行をふ

書入かたにわすれ梅柳ありてらん若くはせ

素性法師

よきものこわれしういし梅柳ありてらん若くはせ  
梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

素性法師の梅柳ありてらん若くはせ

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

素性法師

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

素性法師

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

素性法師

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

三代実徳二十八年五月甲辰  
御り法師位通明皇御年中  
重像珠験遊逆仰止又長  
也名もろ多し御りし

梅乃が城にわすれらん城のわすれらん

のりれり集まると  
花のしりしりめとにやん人のくすくすん

人さしをいふとまじりあはるる心さき首の事に白ひけあ

水のしりしりの梅の心さき首の事に白ひけあ

伊勢

去るあはるる心と花とみくめ花をいふゆめれあ

年浅く花の心とみくめ氷からちかちかるる雪とらるる

葉のまきまき梅の心のちかちかの花をいふ

豊後

海におくこめ花ぬ梅をいふゆめれあ

寛平の由緒あるの心とみくめ花をいふ

とらるる人さき首

万葉集  
わかしらり多し花をいふ

梅の心とみくめ花をいふ

兼持法師

左半記詔難直備其惡能  
不止而轉

ちかちかみくめ花ぬ梅をいふ

人乃花よみ人さきりたるるる花をいふ

あはるる心と花とみくめ花をいふ

伊勢

ちかちかみくめ花ぬ梅をいふ

あはるる心と花とみくめ花をいふ

伊勢

ついでに...  
あつた...  
...

百八...  
...

後醍醐天皇  
皇女天女...  
二月七日...  
大皇太后

珠九集

あつた...  
...

又...  
...

山保...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

こぼれあてがしる  
人のくしりしる

わし川山の留印  
日本元元若元經太子  
秋云河資臂紀能柳摩  
柳島寛句利之私記云言  
山行之時引足而歩也万念  
足痛く足夜しき

木下くさくさ海あり

か  
か

大祿りともあそかりつるまはらちの山のかほ  
新まれの作れ一時はなみそくさまらるる

寛平海舟かたの文はあ金のし  
寛平海舟かたの文はあ金のし

か  
か

だら此山あきまの栞花書一のそあひまは

あ  
あ

か  
か

か  
か

わし川山の留印  
日本元元若元經太子  
秋云河資臂紀能柳摩  
柳島寛句利之私記云言  
山行之時引足而歩也万念  
足痛く足夜しき

か  
か

調  
調

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ





花のらうとてし... 師基のう...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

うつら...  
い...  
うつら...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

三代...  
周...

あひ—後のはな...  
い...のら...

林...  
流...  
秋也

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

あひ—後のはな...  
い...のら...  
あひ—後のはな...  
い...のら...

秋也...  
人...



今方天とてふことゝの冠用を  
今方天とてふことゝの冠用を  
今方天とてふことゝの冠用を

修れぬ春のたつたりの  
修れぬ春のたつたりの  
修れぬ春のたつたりの

さくら花のらるはよあはれ

まはれよのこ

さくら花のらるはよあはれ

春のたつたりの

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

まはれよのこ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

まはれよのこ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

餘波 三和千て程千きりり  
はのゆきとちきりりりりり  
はのゆきとちきりりりりり

さくら花のらるはよあはれ

さくら花のらるはよあはれ

下の巻は... 花の音... 仁壽二年二月... 花の音... 花の音... 花の音...

花乃を... 見平... 素性法師

花乃を... 春乃... 春乃... 春乃...

春乃... 春乃... 春乃... 春乃... 春乃...

春乃... 春乃... 春乃... 春乃...

春乃... 春乃... 春乃... 春乃...

春乃... 春乃... 春乃... 春乃...

春乃... 春乃... 春乃... 春乃...

*Handwritten text at the top left of the right page.*

くちしにる人のこころを  
つとむる人こそよけれ

寛平佛時志まのき世今あつ

在原元方

*Vertical column of handwritten text on the right side of the right page.*

今世のつとむる人こそよけれ

在原元方

つとむる人こそよけれ

在原元方

在原元方

つとむる人こそよけれ

*Handwritten text at the top left of the left page.*

くちしにる人のこころを  
つとむる人こそよけれ

寛平佛時志まのき世今あつ

在原元方

今世のつとむる人こそよけれ

在原元方

つとむる人こそよけれ

在原元方

つとむる人こそよけれ

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

借函通照

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

みる

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

あはれなる御心

春の風  
 吹く  
 花の香  
 心ゆく  
 春の光  
 照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く

春の風吹く  
 花の香心ゆく  
 春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす  
 春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす  
 春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

春の風吹く花の香心ゆく春の光照らす

寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、

信長公

寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、

信長公

寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、

信長公

寛平年中に於ては、

寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、

寛平年中に於ては、

寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、  
寛平年中に於ては、

寛平年中に於ては、

信長公

寛平年中に於ては、

信長公

古今和歌集卷第三

夏身

頭

後

部々とは夏身長し  
我々の地のなるに  
三の寄あはれ  
うはさうりさうり

あそんかきとらふは多しの...

長て海と波あはれ  
山崎まろ山崎まろ

おかしき山崎まろ

伊勢

八月とあはれをうり  
清き山崎まろ

けさまたあはれ  
まとい山崎まろ

吉ねおけ  
新なる

あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた





Handwritten notes in the right margin of the left page.

Handwritten text at the top of the right page.

Main handwritten text on the right page, starting with a large character.

Handwritten text below the main text on the right page.

Handwritten text on the right page, possibly a signature or date.

Handwritten text on the right page.

Main handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Main handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten notes in the right margin of the right page.

Main handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Main handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Main handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten notes in the left margin of the right page.

あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

しんせいのあつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし  
あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし  
あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし  
あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし  
あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよし

あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし  
あつたてのうらやとよしけきこゝろのあつたてのうらやとよし

古今和歌集卷第四

扶桑上

好立日よまほ

友原敏行御作

万葉集の注(万葉集) 万葉集の注(万葉集) 万葉集の注(万葉集)

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ

好立日よまほ

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作

好立日よまほ 友原敏行御作



いづれもよきものありては  
いづれもよきものありては  
いづれもよきものありては

かんなりけつがよきものありては  
かんなりけつがよきものありては  
かんなりけつがよきものありては

伊集里  
初乃ニカニテノ遠く飛んし

白き花のよきものありては  
白き花のよきものありては  
白き花のよきものありては

淡くし  
淡くし  
淡くし

らなはと秋あけぬし  
らなはと秋あけぬし  
らなはと秋あけぬし

いれさのよきものありては  
いれさのよきものありては  
いれさのよきものありては

大正十一年

文集三巻子集申 五月月夜秋月  
文集三巻子集申 五月月夜秋月  
文集三巻子集申 五月月夜秋月

月人のよきものありては  
月人のよきものありては  
月人のよきものありては

秋のよきものありては  
秋のよきものありては  
秋のよきものありては

人のよきものありては  
人のよきものありては  
人のよきものありては

はなをばとまてていふあはれ

藤原たけむら

是貞乃々々の家たす合のい  
是貞乃々々の家たす合のい  
是貞乃々々の家たす合のい



五八橋たか  
下橋のたか  
をうらな  
るまを  
よるまを

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

はらわのあひふを鳴あふ秋芳北上市

寛元年仲夏まきのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

帆  
産之橋、あけはら  
くくつし多  
石の多、箱  
の多、箱  
天の産もつ

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

不勝のあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市

あなむらじとていふ一りのあひふを鳴あふ秋芳北上市





和歌の心と文の心

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心

和歌の心とは、自然の心、人の心、万物の心、すべてが一つである。その心は、言葉に表れ、心に響く。

和歌の心

和歌の心

和歌の心

和歌の心

...

道徳入日

おまびら海めぐり... 寛平中時

おみんとま... 時

おま... 時

平... 時

おま... 時

おま... 時

朝臣

おま... 時

おま... 時

おま... 時

おま... 時

おま... 時

おま... 時



古今和歌集卷中

新下二巻の集巻の年... 古今和歌集の巻中

秋野

秋野の... 秋野の... 秋野の...

是自然の... 是自然の... 是自然の...

秋の野

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

石山... 石山... 石山...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

秋の野... 秋の野... 秋の野...

しんせふ

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふのみにる雨の音をいふ

白落乃白の雨の梅の梅を交付する

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

しんせふ

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

しんせふ

しんせふ

梅雨乃吹ぬ白の雨の梅の梅を交付する

しんせふ

しんせふ

しんせふ

しんせふ

しんせふ

しんせふ

華やかに金とくし守りし  
上の三つしとくし守りし  
或は上三つしとくし守りし

に女の九年

きくみ

わが心より世におまへにゆく人の神代へうまぬ

寛平御時きくみまはれき命のうい

きくみ

らぬこのうてをたふおまへの治のまをくれ

なすこのうてをたふおまへの治のまをくれ

きりのこのうてをたふおまへの治のまをくれ

まはれのうて

朗 師ふかしくまへののうてをたふおまへの治のまをくれ

うれいこのうてをたふおまへの治のまをくれ

きくみ

海方へけさるからそまへののうてをたふおまへの治のまをくれ

あふこのうてをたふおまへの治のまをくれ

あふこのうて

わが心より世におまへにゆく人の神代へうまぬ

なすこのうてをたふおまへの治のまをくれ

きくみ

らぬこのうてをたふおまへの治のまをくれ

なすこのうてをたふおまへの治のまをくれ

きくみのうて

日本は相武天皇の御製  
これよりうらまへののうてをたふおまへの治のまをくれ

雑 露 朝 飲 木 上 蘭 之 陸 上 路 夕 餐 秋 葉 之 露 英

天平のまじりて...  
天平のまじりて...  
天平のまじりて...

今此書のしらまて...  
三北...  
一北...  
二北...

新刊記曰...  
有兼水其原...  
不復穿井即...  
者枕以爲...  
新刊記曰...  
有兼水其原...  
不復穿井即...  
者枕以爲...

寛平...  
大い子...  
寛平...  
大い子...

平一...  
大い子...  
平一...  
大い子...

道真也...  
仙宮...  
素性法師...  
道真也...  
仙宮...  
素性法師...

菊の...  
素性法師...  
菊の...  
素性法師...

あめ...  
あめ...  
あめ...



ちのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ふかよの地のゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

世中此らゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

かみく ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

糖の菊自由ありが ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

たのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆ ( )

今拂西 ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

仁 ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

林 ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

人の ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

ちのゆゆのゆゆ ( ) ちのゆゆのゆゆ ( )

風神抄をせん何れも不宝取つて... 入りの福林きう...

文法入ひき... 此のまうし...

あつのり侍きるもよ...

友永園雄

はあめをたれをなら教ぬ... たるひのまゐる何...

懸あし... 七ヶ人... 守

藤田のあそびをたれてあるあめ... 藤中や...

二のまある... 命はみとの...

藤田のあそびある律をひたじろ... 藤中や...

又あひらけ... みるある...

あひらけ... みるある... 藤中や...

平群... 藤田のあそび... 藤中や...

秋はあひらけぬるもみら... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

秋のあそび... 藤中や...

二葉の宿の...  
屏風は...  
...

謹周...  
錦成...  
分明...

...  
...  
...

...  
...

...

...

...

...

...

...

...

勢川まゝのしりか山ハ上りつゝ  
まひるにふかき、とち南の山、不安  
さし、まはしては

非るひ乃山巖をれてさうさうさうさう  
々々時よ紅葉たるる秋の浅きあは

たつてはれあはぬ

非るひの山巖をれ秋の浅きあはぬ  
寛平時時たつてはれあはぬ  
今まは秋の浅きあはぬ

大井川の岸、秋の浅きあはぬ  
秋の浅きあはぬ  
秋の浅きあはぬ

自給解の秋の浅きあはぬ  
たつてはれあはぬ

たつてはれあはぬ

坂上是別

をみらた秋の浅きあはぬ  
下り伊保りあはぬ

いれしあはぬしりか  
山、秋の浅きあはぬ  
山、秋の浅きあはぬ

何の浅きあはぬ  
山、秋の浅きあはぬ

たつてはれあはぬ

何の浅きあはぬ  
山、秋の浅きあはぬ

山、秋の浅きあはぬ

山、秋の浅きあはぬ

山、秋の浅きあはぬ

定くは  
あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

あしうらな  
大井川

たあははらまのの百にたる

あつひ

たあはらまのの百にたる  
あつひ  
たあはらまのの百にたる  
あつひ  
たあはらまのの百にたる  
あつひ

巻第五 古事

古今和歌集卷第六

冬歌

冬歌の一首

題

小見

（Marginal notes on the right side of the page)

新田川流なりく神皇月さねのあはれそねは

冬の歌とてふあはれ

源家子

（Marginal notes at the top right)

（Main text block on the right page)

題

よらん

（Main text block on the right page)

（Main text block on the right page)

（Marginal notes at the top right)

（Marginal notes on the right side of the page)

（Main text block on the left page)

（Main text block on the left page)

（Main text block on the left page)

（Main text block on the left page)

（Main text block on the left page)

冬の歌とてふあはれ

絶句

（Marginal notes on the left side of the page)

（Main text block on the left page)

冬の歌とてふあはれ

絶句

（Main text block on the left page)

万十九...  
文選謝惠運雪賦...  
け...  
自書

な...  
坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...

坂上...  
坂上...  
坂上...



乃めりたるはなをいへる

梅のつぼみ

淡く

梅乃花をれのみかたはあはれなるはなをいへる

いづれはあはれなるはなをいへる

梅のつぼみ

小野

十神

下白く人のまじりてはなをいへる

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

わが心はなほ

在るまじ

わが心はなほ  
あはれなる時をしのびて  
あはれなる時をしのびて

あはれなる時

あはれなる時をしのびて  
あはれなる時をしのびて

あはれなる時

あはれなる時をしのびて  
あはれなる時をしのびて

論語曰哉寒然後  
知松柏之後彫

とくしんのかう  
あはれなる時をしのびて

あはれなる時

あはれなる時

あはれなる時をしのびて  
あはれなる時をしのびて

許暉 高歌一曲掩明鏡  
昨日少年今白頭  
感あり





しつと... ちのま...  
しつと... ちのま...  
しつと... ちのま...

ふり... ちのま...  
ふり... ちのま...

方代をすし... ちのま...  
方代をすし... ちのま...

由... 内... 延... 方... 内... 方...  
由... 内... 延... 方... 内... 方...  
由... 内... 延... 方... 内... 方...

か... ちのま...  
か... ちのま...

山... ちのま...  
山... ちのま...

毎... ちのま...  
毎... ちのま...

声... 價... 山...  
声... 價... 山...  
声... 價... 山...

林

位... ちのま...  
位... ちのま...

秋... ちのま...  
秋... ちのま...

冬... ちのま...  
冬... ちのま...

白... ちのま...  
白... ちのま...

春... ちのま...  
春... ちのま...

曲... ちのま...  
曲... ちのま...

也... ちのま...  
也... ちのま...

也... ちのま...  
也... ちのま...

延... 神...  
延... 神...  
延... 神...

也... ちのま...  
也... ちのま...



おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

おぼろげにうらなひの御託

かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ人かゝるいふていふ

人かゝるいふていふ





Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of a letter or a specific section of a manuscript.

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

あつたての

くゆるるる様乃のしものもこころなほ

傍心愈んせり

山風掃ゆき花散るる花のすぢねはなほ

海仙法師

おもむきもよそにやるるに秋の夕陽の

仁木のみにてなほはなほ

あつたはたはたやうやうとて

うらやまのさか

海仙法師

わがこころはなほなほとて

山風よれふ文をよほく

秋の上の夕陽の里のわが

河のま

日本に何と云ふは... 大正四年... 伊勢郡... 天川

あつたはたはたやうやうとて

うらやまのさか

林のむかし... 兼光

兼光

和名... 和名... 和名...

あつたはたはたやうやうとて

和名...



古今和歌集卷第九

琴張奇

とらり〜月をみて〜

安倍仲廣 仲滿

はらの侍等仲飯村抄

わたりうらひれぬおのころはあはれなる

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

あはれなる〜あはれなる〜

泉門のつらみたるのまを...

解は... 山... 明... 万... 中... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

か... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

集事... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

在る業平朝臣

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あし... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

あはれなる人こそはさるる世にあらん

右めしるる人こそはさるる世にあらん生あはれなる人死

野—————哭今もあはれなる人

まにまにあはれなる人こそはさるる世にあらん

けしきあはれなる人男も女もあはれなる人

まのまのあはれなる人こそはさるる世にあらん

らみあはれなる人こそはさるる世にあらん

くはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人こそはさるる世にあらん

林  
詩之舞唯志舊侶迷鳥懷故  
人の子あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人こそはさるる世にあらん  
あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人

あはれなる人

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人

あはれなる人

あはれなる人

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人こそはさるる世にあらん

あはれなる人

甲斐又古国

あまのいし

但る國の湯ハ坂崎の湯をい  
うが浦にまきりて今うま  
いふは鮎

まきりて湯をいふは鮎  
たらしめれりとのいふ  
浦の湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯

万十  
まきりて湯をいふは鮎  
山崎の湯をいふは鮎

まきりて湯をいふは鮎  
山崎の湯をいふは鮎  
あまの湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯

あまの湯をいふは鮎

あまの湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯

あまの湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯をいふは鮎  
よまの湯をいふは鮎  
あまの湯

すうれねた  
昌泰三年左氏



Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, with several lines of entries.

Vertical handwritten text, possibly a signature or a specific entry.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Handwritten text, possibly a list of items or a detailed account.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, with several lines of entries.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

Large handwritten entry, possibly a title or a significant item.

古今和歌集卷第十  
物名

若原のつばき

うぐいすの歌  
歌不千のうぐいす

ほろろのつばき

可來 程 時 遣  
くさねのつばき

在るまけのつばき

浪のつばき

生れし忠岑

神のつばきのつばき  
忠岑のつばきのつばき

今移見  
つばきのつばき

柳のつばき  
あまのつばき  
目もつばき

つばきのつばき

鳴呼夏眼  
あまのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

つばきのつばき

五雜

ついでに... 或物... 海のわた... ぬれ...

和名集... 藤心柿... 小南長也... 台記... 玉...

西宮抄四月... 今... 桂と... 葵と桂... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

あつひ... 桂... 葵... 桂の枝...

つらふてい  
りいひのり  
志保  
花名あり和名あり  
なまなひ

龍騰とがり 和名あり  
又まがなふん 和名あり  
名うんしん 和名あり  
男花しん万 和名あり  
花わいしん万 和名あり  
男花やん花とふ 和名あり

わらわきのみやうめ花つぼみ海なるわらわきん  
なまなひ

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

解件 木更ハ質ハ花ハ文ハそのまじりハ女の花のこころは  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり



なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり  
なまなひ 和名あり

和名云水谷一名河苔  
和名加波名鏡方釜の反河し沈まうけ休言極なり  
一洗と女青とわらわきん  
和名云水谷一名河苔  
和名云水谷一名河苔  
和名云水谷一名河苔

和名云水谷一名河苔  
和名云水谷一名河苔  
和名云水谷一名河苔

羅(弟推)の自修(其)日(7)の倍(の)す(う)る(を)

まりりけ

なむれ〜

あつちの〜

あつちけ

あつち

和名云々和名花注云  
長回等和名之乃女等青最晚生  
味大若也倍(二)ち(一)の(三)る(四)る(五)竹(六)

あつちの〜

あつちけ

あつちの〜

あつちけ

あつち

あつちの〜

あつちの〜

あつちけ

あつち

あつちの〜

あつちけ

あつちの〜

あつちの〜

あつちの〜

あつちけ

あつち

あつちの〜

あつちの〜

あつちけ

あつち

あつちの〜

あつちの〜

あつちけ

あつち

あつちの〜

あつちけ

あつち

和名集(何)内(国)次(回)郡(伊)香(加)今(比)乃(海)

あつちの〜

保濁音又(す)は(り)〜

水のまきハ光り、  
水のぬくもりの  
浪の花はゆめをたてしるくちの光を照らす  
かゝるに似てはるるもはるるもはるるもはるるも  
伊勢

水  
拾芥抄云はるる虎園古列所  
与世宮車

浪の花はゆめをたてしるくちの光を照らす  
かゝるに似てはるるもはるるもはるるもはるるも  
伊勢

水にのびてはるるもはるるもはるるもはるるも  
たかろ

あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
拾芥抄  
桂宮六條小西  
洞院西一町  
源朝正  
施揚男

桂宮  
但天孫三年、日野宮  
つづつとゆめはるるもはるるもはるるもはるるも  
かこのくちの光を照らす  
和名集三神仙侍准南王張錦  
繡之帳燻百和之香

あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
すまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

香のこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

川  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも  
あまのこころはるるもはるるもはるるもはるるも

叶の多のら青雲西の上

あはれなること

傷心

八やあふ中二句

いづれかたはらふ

あはれ

宝暦六年 丙子 十月十四日 楊 畢 同十四年 申 二月 二日 以 縣 君 丈 人 之 說 更 加 筆

藤原方伎

